



高校「情報Ⅰ・Ⅱ」とデータサイエンス教育実践の現状

九州・山口地域の高等教育における

高大連携シンポジウム

**12/19(木) 13:30 ▶▶ 16:30 (13:00受付開始)**  
**JR博多シティ 9階 会議室 1**

対面およびZoomウェビナーによるハイブリッド開催

対象: 高校教員・大学教職員

定員: 現地会場 50名・オンライン 500名

参加費無料・事前申込制

**プログラム**

13:30-13:40 オープニング

進行 宮野 英次 (九州工業大学 数理・DS・AI教育推進室)

13:40-14:10 講演 1

情報学と工学と社会が一体となって育む北部九州の理系人材育成  
坂本 比呂志氏 (九州工業大学)

14:10-14:30 講演 2

飯塚高校DXハイスクールの現在と「情報」教育に関する高大連携の展望  
嶋田 吉朗氏 (学校法人嶋田学園 飯塚高等学校)

14:30-14:50 講演 3

情報科教員1年目の授業実践:そこから見えた情報教育の現状と課題  
小椋 大雅氏 (山口県立防府高等学校)

14:50-15:10 休憩

15:10-15:30 講演 4

高校「情報」教育の実践と課題:嘉穂高校の取り組み1年目での現状  
宮原 裕紀氏 (福岡県立嘉穂高等学校)

15:30-15:50 講演 5

久留米商業高等学校での情報教育の取り組みについて  
松尾 伸一氏 (久留米市立久留米商業高等学校)

15:50-16:20 パネルディスカッション

ファシリテーター 藤本 晶子 (九州工業大学 数理・DS・AI教育推進室)

16:20-16:30 クロージング

近年、数理・データサイエンス・AIを活用し、実社会の様々な社会問題を解決できる人材の育成が求められています。そのような社会的要請の中、大学・短期大学・高等専門学校では、デジタル・サイエンス・数学分野の強化が進められており、一方で高校の教育現場では「情報Ⅰ」が2022年度より必修化され、2025年度には数理・データサイエンス・AIリテラシー教育を受けた新しい世代が大学へと進学します。

本シンポジウムでは、高校、大学教員の講演・パネルディスカッションを実施し、高校における情報・数学等の教育実践の好事例や、九州工業大学における数理・データサイエンス・AI教育に関する取り組みの紹介を行い、「情報」教育を中心とした高大接続の現状を共有し、お互いの課題を検討できる場となるよう開催します。是非ご参加ください。

**会場について**

会場: JR博多シティ 9階会議室 1  
住所: 〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1 9階

会場(9階会議室 1)までのアクセスは  
下記URLをご確認ください。

JR博多シティ HP(アクセス)  
<https://www.jrhakatacity.com/com municationspace/access/>

**申込方法** ※申込期間 11/12(火)~12/12(木)

下記のURLまたはQRコードからお申込みください。

数理・DS・AI教育推進室 HP  
「イベント」▶▶「高大連携シンポジウム」▶▶「申込方法」  
<https://www.kyutech.ac.jp/mdash>



**お問い合わせ先**

九州工業大学 教育支援課教育支援係  
E-mail: [gak-kyoshien@jimu.kyutech.ac.jp](mailto:gak-kyoshien@jimu.kyutech.ac.jp)

■主催 九州工業大学

■後援 数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 九州・沖縄ブロック